

平成27年度宇佐市功労者表彰

★一般表彰

No.	氏名	年齢等	住所	功績等
1	平敬教 <small>たいら たかのり</small>	78	大字金丸	昭和59年に日展に入選され、以後「毎日書道展」など各種書道展に入選され、大分県美術協会名誉会員として長きにわたり、市内の書道文化の振興に寄与されてきた。 平成23年から平成27年まで宇佐市文化協会会長を務められ、その間宇佐支部で行われていた「宇佐ふるさと芸術祭」を宇佐市全体で行う「宇佐市民芸術祭」とし、宇佐市文化協会の活動を実質的に一本化した。 また平成21年から始まった韓国慶州市との美術交流を隔年で相互に訪問し、美術交流展を開催する礎を築くなど、国際交流に尽力された。
2	眞田晋 <small>きなだ すすむ</small>	86	院内町栗山	平成7年度から20年の長きにわたり、宇佐市(院内町)オオサンショウウオ保護管理委員会委員を務め、主に監視員として常日頃から特別天然記念物オオサンショウウオや天然記念物オオサンショウウオ生息地の保存活動・環境整備に尽力し、文化財保護行政に大きく貢献している。 なかでも、平成22年度から25年度の4年にわたり、宇佐市が実施した特別天然記念物オオサンショウウオ緊急調査事業においては、現地調査はもとより生息地の探索等に尽力、事業の推進に大きく寄与した。
3	小田保彦 <small>おだ やすひこ</small>	76	院内町岡	平成7年度から20年の長きにわたり、宇佐市(院内町)オオサンショウウオ保護管理委員会委員を務め、主に監視員として常日頃から特別天然記念物オオサンショウウオや天然記念物オオサンショウウオ生息地の保存活動・環境整備に尽力し、文化財保護行政に大きく貢献している。 なかでも、平成22年度から25年度の4年にわたり、宇佐市が実施した特別天然記念物オオサンショウウオ緊急調査事業においては、現地調査はもとより生息地の探索等に尽力、事業の推進に大きく寄与した。
4	永田知徳 <small>ながた とものり</small>	78	安心院町檜本	安心院地区の鍍絵は傷みが激しく修復をおこなわないと保存できないものが多く存在する。そのような状況の中、氏は昔の左官技術を研究し、鍍絵の保存修復を多数手掛けてきた。またその技術を活かし、新作の鍍絵設置も行い、安心院地区の鍍絵文化の保存と発展に大きく寄与した。 さらには、平成4年から平成25年まで公民館指導員・公民館長等を務めてきた経験を活かし、地域の児童生徒や一般の方々にも鍍絵製作の指導にあたるなど、児童の育成と地域社会教育にも尽力された。
5	ながす 長洲アーバンデザイン会議 (会長 長浦善徳) <small>ながすのり</small>		大字上田	平成2年に設立されて以来、「21C'アーバンルネッサンスNAGASU」を合言葉に長洲の現状や課題を知り、幅広い意見や考え・ユニークな活動を吸収し、長洲に住む人々のコンセンサスを重視、新しい長洲の都市像の方向性をイメージしながら活動をおこなってきている。 主な活動として、平成10年から清掃ボランティア「ビーチクリーンアップ」の年2回実施、長洲地区に伝わる伝統漁法の石干見の保存・復元のため日本初の「石干見サミット」の開催、長洲弁で行うラジオ体操など地域の特性を活かしたまちづくりに大きく貢献している。 また、本年「ビーチクリーンアップ」や「石干見の保存・復元活動」が海岸環境の美化保全に多大な成果をあげ、他の模範となると認められ、一般社団法人全国海岸協会より「海岸功労者表彰」を授与された。
6	さいまつたす 歳末助け合いチャリティショー 実行委員会 (会長 賀来和紘) <small>あいかずひろ</small>		大字佐々礼	平成6年より、障がいのある人もない人も共に生きる地域社会づくり並びにボランティアの輪を広げることを目的に「歳末助け合いチャリティショー」の計画・運営に取り組んでいる。 昨年は20回目の節目となり、今年の11月23日には21回目の開催を迎える。回を重ねるごとに市内のボランティア団体を始め多くの市民や各種団体の参加の輪も広がり、多くの方が出演され、福祉の推進はもとより市民にとっても楽しみな行事ともなっている。 チャリティショーの益金は宇佐市をはじめ市内の福祉施設等に寄附し、地域福祉の向上に大きく貢献している。